



| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| K | A | S | H | I | N | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | S | P | E | C | I | A | L | | | | | | | | | | | | |
| | | | | R | E | P | O | R | T | | | | | | | | | | | |

第20期



かしん経営大学

第20期 かしん経営大学開校

鹿児島信用金庫が、1996年に開講した「かしん経営大学」は、本年度で20年目と歴史ある講座となっています。経営に必要な基本的な考え方や、発想の方法また異業種とグループワークを行い、事業計画を作成しながらより具体的に考え学ぶという事を行っています。

地域に根ざす金融機関として、それぞれの業界やお客様の発展が何よりの使命と考え、毎年様々な業界、世代の経営者から職員の方々にご参加いただいております。

学ぶだけでなく 人との繋がりを。

かしん経営大学では、学ぶことだけでなく、人との繋がりが、非常に大切なことであると考えています。経営者から中間管理職、そして新入職員など、自分の会社から二歩離れて考えることで、新たな発見があると信じているからです。

そして、人との繋がりは、仕事においても各事業者との取引等、新たな事業が生まれる可能性が多いにあり、人と人の繋がりが経営にも必要不可欠だと考えています。

かしん経営大学で共に学んだ卒業生の多くは今でも良き相談相手、経営の仲間として続いています。

今年度も新たな出会いがあり、二つのテーマに向かって積極的にご参加いただいております。

地方創生★政策アイデアコンテスト 2016

自分のまちを元気にするプランを作成中

RESASを活用した事業プラン 地方創生☆政策アイデア コンテストへの挑戦

20期と節目を迎えたかしん経営大学では、今期のひとつの挑戦として、内閣官房「まち・ひと・しごと創生本部」が開催する「地方創生☆政策アイデアコンテスト2016」に参加します。

今期のかしん経営大学のチームは、7チーム。各市町村の職員の皆様方にもご参加いただき、当金庫のお取引がある企業の経営者や従業員等異業種が一体となって、まちを元気にする計画を作成中です。

地元・鹿児島を元気にしたいという思いは当金庫だけでなく、参加されているお取引様も同じ。こうした国の活動に賛同し、地元の方と情報を共有し、二つの目標に向かって進んで行く事も地域金融機関の役割だと思っています。



地方創生のムーブメントを国民レベルで盛り上げる。内閣官房のまち・ひと・しごと創生本部が開催。RESASを活用して自らのまちを分析し、元気にするアイデアを募集。自分の地域や故郷の現状、そして未来がどうなろうとしているのか、知っていただき、考える機会に開催されている。

地方創生★アイデアコンテスト 2016 で検索



第20期かしん経営大学カリキュラム

| 回 | 実施日時 | テーマ・内容 |
|---|-----------------------------------|--|
| 1 | 平成26年 5月14日(土) 13:30~16:30 | 講義 「イノベーションマネジメント」 ワークショップⅠ 「地域の課題発見」 |
| 2 | 平成26年 6月4日(土) 13:30~16:30 | 講義 「創造的問題解決論」 ワークショップⅡ 「RESASの有効活用」 |
| 3 | 平成26年 7月2日(土) 13:30~16:30 | 講義 「新事業開発の方法」 ワークショップⅢ 「地域価値を上げるアイデア創出」 |
| 4 | 平成26年 8月6日(土) 13:30~16:30 | 講義 「企画書・プレゼン資料の作り方」 ワークショップⅣ 「事業アイデア評価」 |
| 5 | 平成26年 9月3日(土) 13:30~16:30 | 講義 「事業戦略」 ワークショップⅣ 「3Cについて考える」 |
| 6 | 平成26年 10月15日(土) 13:30~16:30 | 各グループ事前プレゼン ワークショップⅥ 「企画書・プレゼン資料作成」 |
| 7 | 平成26年 11月5日(土) 13:30~16:30 | ワークショップⅦ 「企画書・プレゼン資料作成」 |
| 8 | 平成26年 12月17日(土) 13:30~16:30 | 発表会・卒業式 ※本店 6Fホール |

かしん経営大学で
学ぶこと。



経営研修でインプット
グループワーク研修で
アウトプット

かしん経営大学では、経営に必要な知識や考え方、スキルを学ぶ座学研修とその学んだ知識を活かすため、グループワークによる研修を行います。それぞれのビジネスの基本になる研修と、異業種によるグループワークで1つのテーマに基づいた事業計画を作成する。業界の構造が違う中で、自分の業界との比較や考え方、方針、経営方法を他社（他者）から学び、活かして行く。異業種で一つの事業計画を作成する本大学での研修は、非常に貴重な経験となります。



信金中央金庫から

講師を派遣

信金中央金庫の高田様にリーサスについてお話し頂きました。リーサスの各マップの中から、ビジネスモデルの検討になりうる項目を中心に、実際に鹿児島島のデータを元に講話頂きました。また、霧島市の観光地のデータをリーサスにて分析をする研修も行われ、リーサスにおける分析方法を学びました。

■ 今回の研修で学んだ

リーサスのマップ

| | |
|----------|--------------------------------|
| 産業マップ | 稼働力分析、特許分布図 |
| 地域循環マップ | 地域経済循環図、分配分析 |
| 農林水産業マップ | 農業花火図、農産物販売金額 農業者分析 |
| 観光マップ | Fromto分析、滞在人口率 メッシュ分析、目的地分析 |
| 人口マップ | 人口構成、人口の社会増減 企業数、付加価値額 |
| 自治体比較マップ | 労働生産性、黒字赤字企業比率 |



信金中央金庫
しんきん地方創生支援センター

審議役
高田 眞 氏

TAKADA SHIN

それぞれの立場から分析。そして、どう活かすか。

「データを読み取って使わなければ意味がない。自治体の方は、地域の活性化という観点から。経営者の方は、人口減少において、どういった影響を受けるのか、それぞれの立ち位置の観点で分析して、このリーサスのデータをどう活かすかが極めて重要になるのです。」
(高田氏)

産業マップでは、いかに一人当たりの生産性をあげていくか。また特許分布図を使用した特許を使用した商品・サービス・開発の可能性。地域循環マップでは、自地域における産業の内外の経済循環を分析することの重要性。農業における構造分析やアグリビジネスの可能性。観光ではエリア、スポットを分析することで見えてくる観光戦略の考え方やビジネスモデルの検討。人口減少におけるこれからのビジネスの在り方と生産年齢人口を確保することの重要性。自治体比較マップを分析することで、地場産業の現状や取引の安全性の検討等の指標になること。また逆の発想で生産性を向上させる抜本的なモデルを提案することができれば大きなチャンスがあるということ。

リーサスの各マップにおけるデータの使用方法や考え方。またそれに対して各立場からビジネスをどう展開していくのかがいいのかという事をお話いただき、今後のかしん経営大学での事業計画作成やそれぞれの経営に役立つ非常に貴重な時間となりました。

LISTEN 現場の人に聞く“かしん経営大学のこと。”



鹿児島信用金庫
理事・地方創生担当
西 哲郎



信金中央金庫
鹿児島県分室所長
堀江 博康



かしん経営大学
主任講師
株式会社創造経営研究所
代表取締役
宇都 幸雄

地方創生は、「未来の日本の在り方を大きく変えていく」という挑戦です。その中であって、地域に密着している信用金庫の力がどうしても必要です。それぞれの分野で活躍されている方々をできるだけ巻き込んで、地域の総合力を発揮してもらいたい、そのツールが「RESAS」です。

第20回経営大学で「RESAS」を使って、まだ見ぬ将来のリスクに備えるために自治体と民間企業とかしんが臨機応変に対応し、これからの地域はどういうものであるべきか……この機会に探してほしいと思います。

20周年を迎えた「かしん経営大学」の今回の取り組みは、われわれ地域金融機関が提供する金融機能とは別に、地域の主体である参加者一人一人が地域の発展について考える絶好の機会の提供と考えており、全国的に見ても稀有な事例であります。

信金中央金庫は信用金庫の中央金融機関として信用金庫とともに地域の発展と活性化に資する活動を行っており、引き続き支援させて頂きたいと考えております。

かしん経営大学の特徴は、異業種が集まり事業計画を創り発表するところにあります。毎年、6チーム程でメンバーの組合せをどうするかが頭を悩ませます。今回はテーマが地方創生という事で、地域毎にチームをつくりました。各チームがチーム力を発揮し、ユニークで実現可能な事業計画を創り上げるには、組合せも重要ですが、リーダーシップとメンバーシップが発揮される事が最も重要です。それには魅力のあるテーマ作りと共有化、そして実現への見通しを付ける事が重要です。

INTRODUCTION



TEAM 鹿児島チーム

山口 秀典 ヤマグチ(株)
 正村 幸太郎 (学)鹿児島学園
 宇都 泰平 (株)創造経営研究所
 高山 未央 鹿児島信用金庫

PROJECT BAY-s KAGOSHIMA project ベイスカゴシマ

“自分たちが楽しめるもの”をテーマにグランピングを計画。ドルフィンポート前にある実際の敷地利用案として始まり、伝統をプラスすることで、鹿児島の人、若い世代の活性化と流出を抑え、その活性化の波を観光へと繋げていく事業を計画中。

かしん経営大学のチームを紹介。
 各グループは、業界も年代も違う形で構成されており一つのテーマを設け、事業計画を作成していきます。
 今年度は従来の事業計画作成に加え、国のビッグデータ“RESAS”を使用して作成します。各グループそれぞれのテーマに沿って卒業に向け、鋭意作成中です。



TEAM 霧島チーム

松永 俊宏 霧島市役所
 美坂 雅俊 霧島市役所
 梅木 龍一 (株)九州タブチ
 小石 高嗣 (有)エスティシステム
 油田 哲平 (株)トラストバース
 岡元 壮司 家族湯一番
 岩崎 みどり (株)日本プロセスセンター
 山野 悠樹 鹿児島信用金庫

PROJECT きりしま黒ラーメンプロジェクト

産官学+観光が一体となり、霧島市の1次・2次・3次業者が連携し地域の食ブランドとして「きりしま黒ラーメン」を開発。霧島の魅力“温泉・自然”に新に“食”をプラスすることで地域活性化交流人口の増大、雇用創出、特産品販売増に繋げる事業。



TEAM 始良チーム A

花田 浩太郎 始良市役所
 山口 武史 (株)アイケン
 榮 宜文 (株)LGS
 犬伏 浩幸 (有)松島友の会
 岩下 博洋 (株)山藤建設
 鈴木 俊二 始良市議会議員
 永井 誠二 新誠工業
 追立 雄人 鹿児島信用金庫

PROJECT 鹿児島どまんなか市場

始良市は、鹿児島県の県央に位置し、様々なデータから鹿児島観光へのアクセスが非常に良い事。その立地を活かし、鹿児島の特産【文化】【力】を集約し、今までにない販売形式や、更に ICT サービス等を活用することにより、国内は勿論、海外を視野に入れた発信を行い、【地域】【県】【企業】が活性化・PR でき、【地域創生の拠点】となる事業。



TEAM 南薩チーム A

東 忠孝 指宿市役所
 小原 和彦 南さつま市役所
 湯ノ口久仁子 イートアロット
 鈴木 芳乃 (有)御菓子司鳥越屋
 有村 純頼 指宿シーサイドホテル(株)
 山口 望 (有)加世田葬祭
 日高 伸吾 鹿児島信用金庫

PROJECT 未来型湯治場のカタチ

南薩の素材(温泉+食+自然)を組み合わせた究極の健康体験を通して、地元から元気な人&まち造りに取り組むことで、魅力ある観光地を目指す事業。



TEAM 南薩チーム B

寺前 秀紀 枕崎市役所
 鶴窪 誠矢 南九州市役所
 戸床 恵美子 (株)マルニフーズ
 中村 広典 (株)中村屋
 喜岡 典子 (株)森商店
 下脇 翔吾 南薩食鳥(株)
 前垣内 貴 鹿児島信用金庫

PROJECT 南薩若者によるコミュニティビジネス支援事業

「地域企業が地域人材を育成し、地域人材が地域企業を発展させる」をテーマに、高校生と企業が一体となり地域全体で地域の若者を育てる仕組みを創る。若者の地域企業への就職、地域経済の維持・発展、過疎地域の再生創造を目標に計画。



TEAM 西薩チーム A

福山 勝広 薩摩川内市役所
 山下 卓也 いちき串木野市役所
 宮之原 聖 いちき串木野市役所
 漆原 道友 (株)バスポート
 中村 淳一 日高水産加工(有)
 高濱 知男 (株)高浜蒲鉾
 毛利 滋子 リ・デザイン工房
 小川 洋平 鹿児島信用金庫

PROJECT シルバー自衛隊

人生経験豊かなシルバー世代が、郷土文化の伝承や様々な知識と技術をワークショップ等を通して地元の人や若い世代へ伝える。土地を有効利用し、隊員の食堂や情報発信拠点をつくり、地域の活性化に繋げる事業を計画。



TEAM 西薩チーム B

中村 圭佑 (株)ノルム
 深水 崇雄 深水刃物(有)
 井上 利洋 日置市役所
 大迫 久瑠実 日置市役所
 橋口 賢一郎 (株)伊集院殖産
 元吉 章郎 (医療法人誠心会
 川崎 航 (有)シーエス防災鹿児島
 草留 高節 鹿児島信用金庫

PROJECT 日置市農業女子プロジェクト

日置市の農業を再生創造するためのコミュニティビジネスを開発起業することにより、農業女子起業家を養成する事業。人口減少が進む中、1次産業の承継と活性化、人口増加を図っていく事が狙い。農業女子にスポットをあて計画を作成中。